

小中合同の体育的な行事で運動習慣の定着を図る

唐津市立七山中学校【全校生徒65名】

実施目的

- 校舎一体型の小中一貫校で、合同での体育的行事を通して好ましい人間関係や運動習慣の定着を図る。

実施内容

1 新体カテスト

5月初旬の課業日に連続3時間確保して、実施該当学年を縦割り6班編成して、中学生の指導の下に実施した。

小学校低学年には、体育の時間に中学の体育教諭が、当日実施しないシャトルランの計測等の補助を行い測定が円滑にできるように支援した。

2 体育大会

赤、白の2団を全校縦割りで編成し、児童生徒会によるスローガン決定や応援リーダーの事前学習会、小中協同によるバック絵制作など小中一貫校の特性を生かしながら事前準備から取り組んでいる。

また、1年生の歓迎種目などプログラムを工夫している。

3 中体連夏季総体の開催前

小学5年生から中学3年生が一堂に会して、中体連選手激励会を実施している。中学生には大会での健闘の決意を、小学生には中体連や部活動やスポーツ活動へ関心を持たせるようにしている。

4 夏休み

小学生の水泳教室に、中学の保健体育の教諭が指導スタッフとして支援している。

組織体制づくり

1 保健体育の行事は「心体プロジェクト部会」が担当し、構成は小中の各体育主任、養護教諭、給食担当の4名。

それぞれの関係行事の主担当が原案を提示して部会で検討し、職員会議で提案して実施している。

実施上で工夫したこと

1 全校の児童生徒を年度当初に、小学1年生から中学3年生までの縦割り班で6班編成して、それを基本にしながら、体育行事や、ボランティア活動などで縦割り活動を行っている。

2 異学年間の交流を積極的に図るために、上学年のリーダーシップを発揮させるようにした。

3 勝敗を競う場合は、チーム力を均等にするように配慮した。

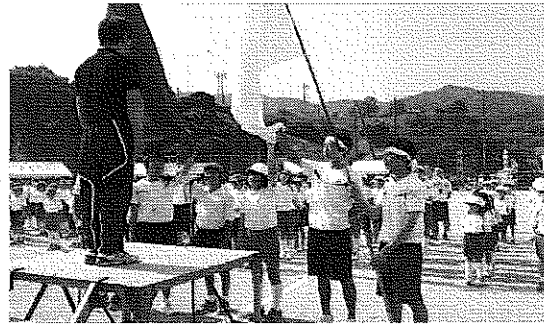
主な
成果



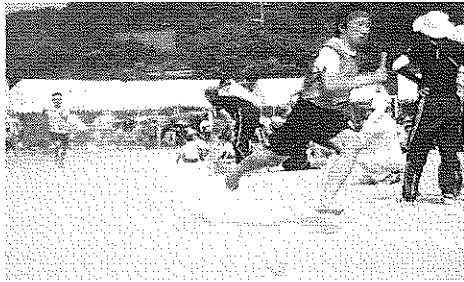
- 1 縦割り班での活動により小学生は中学生を手本にして技術的な面を見習い、中学生は上級生としての自負があり、積極的に活動している。
- 2 昼休みなど小中の児童生徒が仲良くサッカーをしたり、校舎内でも中学生が小学生に優しく声をかけたりする姿が自然にみられる。
- 3 中学生の部活動入部率や社会体育での活動率を合わせると9割を超えており、身体活動に対する関心は高い。



【体育大会 結団式】



【体育大会 開会式】



【体育大会 縦割りによる総合リレー】



【中体連選手激励式】

新体力テスト個人記録表 () 年名前 ()

※じぶんの体力(たいりよく)をしょう。そしてじぶんの体力をのぼそう。 1年前の記録

①	あくりよく (kg)…切り捨て ※にぎるちから	右 みぎ	1かいめ	kg	2かいめ	kg	右	kg
		左 ひだり	1かいめ	kg	2かいめ	kg	左	kg
							平均	kg
②	じょうたいおこし (回) ※おなかのちから		回	0	びょう			回
③	ちょうざたいぜん くつ (cm)…切り捨て ※からだのやわら	1かいめ		cm	2かいめ			cm
④	ほんぶくよことび (点) ※すばやき	1かいめ		点	2かいめ		点	20びょう
⑤	20mシャトルラ ン(回) ※つづけるちから							回
⑥	50mそう(秒) ※はしるちから			秒	…1/10秒未満は切り上げ			秒
⑦	たちはぼとび (cm)…切り捨て ※とぶちから	1かいめ		cm	2かいめ			cm
⑧	ワフキ-かなげ (m)…切り捨て ※なげるちから	1かいめ		m	2かいめ			m

※はかるばしよしゆもくぼんごう
運動場・技術室 — 体育館の交代
その場所の種目(3種目)が終わったら場所を変わる
協力して、正かにはかるうね! 数字はゆくりまく! このかみは、すてないでね!

【スポーツテスト 低学年記録表】